



教育目標 げんきで なかよく がんばる子

祝創立50周年

第8号

令和7年11月28日

八王子市立松が谷小学校

松が谷

“みんなで協力 全力で 最高に楽しい スクプレにしよう”

校長 沓澤 広明

創立50周年記念行事の一つとして開催されたスクールプレイフェスティバルを、11月14日（金）の児童鑑賞日、そして15日（土）の保護者鑑賞日をもって、無事に終えることができました。

本年度のスクプレは、タイトルにある“みんなで協力 全力で 最高に楽しい スクプレにしよう”というスローガンのもと、子どもたちが主体となって取り組みました。

10月に入ってからの日々、体育館や各教室からは、真剣ながらも楽しそうな声が絶えることはありませんでした。この熱意こそが、記念すべき年の素晴らしい舞台を作り上げる原動力となりました。

どの学年も工夫を凝らした個性豊かな発表を見せてくれました。1・2年生は、かわいらしさが光る「11ぴきのねこ」を披露しました。50周年記念キャラクター「松吉」も登場し、会場を大いに盛り上げてくれました。3・4年生は、身近にある大切なものに気付かせてくれる物語「ほんとうの宝物は？」、5・6年生は、まわりの人を大切にする心や命の大事さをテーマにした感動的なミュージカル「夢から醒めた夢」を披露しました。また、特別支援学級「そよかぜ学級」の友達も、それぞれの学年に加わり、全力で練習に励みました。一人ひとりが自分の役割を見つけ、懸命に努力する姿は、学年や学級を超えた一体感を生み出していました。



1・2年 11ぴきのねこ



3・4年 ほんとうの宝物は？

練習中は、子どもたちが自ら考え、創り上げる力が発揮されました。セリフの言い方、動きの工夫、小道具や大道具の準備に至るまで、先生からの指示を待つのではなく、友達同士で活発に意見を出し合い、教え合い、励まし合いながら取り組む姿がたくさん見られました。「もっとこうした方が伝わるよ。」「一緒に練習しよう！」そんな声が飛び交う中で、

演技はみるみるうちに洗練されていきました。劇の「練習」であると同時に、最高の「協働学習」の場でもありました。

その成果は、日を迫うごとに確実な成長となって表れました。最初のリハーサル、少し緊張のあった児童鑑賞日、そして迎えた保護者鑑賞日では、練習してきたことのすべてを出し切り、最高の仕上がりとなりました。保護者や地域の方からの体育館いっぱいに響いた温かい拍手は、子どもたちの努力と成長への大きな励みとなりました。

スクプレの成功の背景には、保護者の皆様のご協力があります。衣装や小道具の準備や体調管理へのご配慮、ご家庭での練習の支えなど、日々の温かい後押しに心より感謝申し上げます。子どもたちが安心して集中して取り組むことができました。

松が谷っ子は、目標に向かって努力し、仲間と協力する大切さ、大きな舞台で全力を出し切る達成感といった、かけがえのない経験を得ました。この学びは、これからの学校生活でも大きな力になると期待しています。



5・6年 夢から醒めた夢